

## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月28日

上場会社名 ウェルビングループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7136 URL <https://www.wellbingroup.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉置 義議  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 板倉 公洋 (TEL) 04-2951-6233  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月30日 配当支払開始予定日 —  
 発行者情報提出予定日 2022年3月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期の連結業績 (2021年1月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	9,266	—	608	—	587	—	389	—
2020年12月期	4,986	—	263	—	212	—	141	—

(注) 包括利益 2021年12月期 386百万円(—%) 2020年12月期 141百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	192.69	—	35.5	11.7	6.6
2020年12月期	69.81	—	16.9	4.9	5.3

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 一百万円(—%) 2020年12月期 一百万円(—%)

- (注) 1. 2020年12月期より、5月決算から12月決算へ決算期を変更したことに伴い、前連結会計年度は7ヵ月の変則決算となっております。このため、対前期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2021年12月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	5,465	1,288	23.6	638.04
2020年12月期	4,620	902	19.5	446.95

(参考) 自己資本 2021年12月期 1,288百万円 2020年12月期 902百万円

(注) 当社は、2021年12月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	0.00	0.00	0.00
2021年12月期	0.00	0.00	0.00
2022年12月期(予想)	—	—	—

(注) 2022年12月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	9,500	2.5	630	3.5	610	3.8	404	3.8	200.00

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期	2,020,000株	2020年12月期	2,020,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期	-株	2020年12月期	-株
③ 期中平均株式数	2021年12月期	2,020,000株	2020年12月期	2,020,000株

(注) 当社は、2021年12月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2021年1月1月から2021年12月31日まで)の日本経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振りましたが、先進国を中心にワクチン接種が進み、各種政策や海外経済の改善効果もあり、持ち直しに向かうことが期待されます。ただし、国内外の感染症の動向や世界金融資本市場の変動等の影響等について留意する必要があります。

このような環境のなか、当社グループの属する自動車業界(主に軽自動車)におきましては、2021年1月から2021年12月までの国内軽自動車(乗用車)販売台数は1,275,836台(前年同期比95.8%)とマイナス幅が前年度と比べ縮小したとはいえ、3年連続で前年を下回る結果となり、回復基調とは言えない状況となっております。(出典:一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ・一般社団法人全国軽自動車協会連合会統計データ)

このような状況のなか、『最高に安心・安全なカーライフを提供する』というミッションに基づき、感染予防の徹底によるお客様との対面商談以外に、Web商談・SNS等の販促を強化する事により、従来型の来店によるお客様との商談に頼らない営業活動に注力して参りました。その結果、当連結会計年度における売上高は9,266,144千円、売上総利益1,982,600千円、販売費及び一般管理費1,373,780千円、営業利益は608,819千円、経常利益は587,819千円、親会社株主に帰属する当期純利益は389,242千円となりました。

なお、当社は2020年12月期より、5月決算から12月決算へ決算期を変更したことに伴い、前連結会計年度は7ヵ月の変則決算となっております。このため、対前期増減率は記載しておりません。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ77,944千円増加(2.7%増)し2,977,178千円となりました。これは主として、営業活動の結果による現金及び預金の増加74,788千円などによるものです。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ766,394千円増加(44.5%増)し2,488,065千円となりました。これは主として、新規出店のための土地の増加569,781千円などによるものです。

#### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ188,223千円増加(14.2%増)し1,515,772千円となりました。これは主として、運転資金のための短期借入金の増加100,000千円、業績好調による未払法人税等の増加123,374千円などによるものです。

#### (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ270,096千円増加(11.3%増)し2,660,621千円となりました。これは主として、出店資金のための新規借入等による長期借入金の増加276,106千円などによるものです。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ386,018千円増加(42.8%増)し1,288,850千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する当期純利益389,242千円の計上などによるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は 1,408,396 千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、539,901 千円の収入となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益の計上 587,819 千円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、938,561 千円の支出となりました。これは主として、新規出店等による有形固定資産の取得による支出 666,378 千円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、473,448 千円の収入となりました。これは主として、新規出店資金目的などの長期借入れによる収入 493,060 千円によるものです。

### (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の再拡大により、我が国経済の先行きについては依然として不透明な状況にありますが、今後のワクチン普及などにより、徐々に正常化に向かうことが期待されます。

このような環境のなか、引き続き、前期より注力しておりますデジタルツールのより一層の活用の推進と社会環境の変化に柔軟に対応できる社内体制・営業戦略の構築に取り組んで参ります。また、エリアシェア拡大とお客様サービスの拡充・利便性を高め、来店客・各種デジタルツールを介したお客様の多種多様な要望にお応え出来るサービスの向上に努めて参ります。

以上のような取り組み・見通しに基づき、2022年12月期の通期業績は、売上高 9,500 百万円（前期比 2.5%増）、営業利益 630 百万円（前期比 3.5%増）、経常利益 610 百万円（前期比 3.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 404 百万円（前期比 3.8%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,333,607	1,408,396
売掛金	84,275	91,574
商品	1,115,181	1,046,591
原材料及び貯蔵品	19,805	27,041
前渡金	177,443	258,627
その他	169,847	145,963
貸倒引当金	△928	△1,016
流動資産合計	2,899,233	2,977,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	427,281	394,602
機械装置及び運搬具 (純額)	77,015	121,759
工具、器具及び備品 (純額)	11,897	8,670
土地	821,615	1,391,396
建設仮勘定	—	3,500
有形固定資産合計	1,337,809	1,919,928
無形固定資産		
ソフトウェア	10,480	7,728
その他	657	559
無形固定資産合計	11,137	8,287
投資その他の資産		
投資有価証券	13,220	30,829
関係会社株式	43,042	43,042
出資金	44,125	25,497
長期貸付金	—	163,200
差入保証金	76,892	77,436
保険積立金	122,117	148,344
繰延税金資産	5,740	7,861
その他	67,583	63,637
投資その他の資産合計	372,722	559,848
固定資産合計	1,721,670	2,488,065
資産合計	4,620,904	5,465,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	196,830	203,695
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	277,724	375,066
未払金	187,278	74,141
未払費用	64,515	65,942
未払法人税等	43,121	166,495
未払消費税等	66,717	81,703
前受金	349,296	415,434
賞与引当金	12,412	15,051
その他	129,651	18,240
流動負債合計	1,327,548	1,515,772
固定負債		
長期借入金	2,379,982	2,656,088
繰延税金負債	10,542	4,533
固定負債合計	2,390,524	2,660,621
負債合計	3,718,073	4,176,393
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	399,088	399,088
利益剰余金	475,411	864,654
株主資本合計	904,500	1,293,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,668	△4,892
その他の包括利益累計額合計	△1,668	△4,892
純資産合計	902,831	1,288,850
負債純資産合計	4,620,904	5,465,243

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

① 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	4,986,786	9,266,144
売上原価	3,835,368	7,283,544
売上総利益	1,151,418	1,982,600
販売費及び一般管理費	888,370	1,373,780
営業利益	263,047	608,819
営業外収益		
受取利息	15	16
受取配当金	100	101
補助金収入	2,838	20,111
受取保険金	4,702	3,933
その他	4,126	11,539
営業外収益合計	11,783	35,701
営業外費用		
支払利息	8,671	16,916
匿名組合投資損失	49,740	37,779
その他	4,104	2,006
営業外費用合計	62,515	56,701
経常利益	212,316	587,819
特別損失		
投資有価証券売却損	7,476	—
特別損失合計	7,476	—
税金等調整前当期純利益	204,839	587,819
法人税、住民税及び事業税	57,767	205,016
法人税等調整額	6,065	△6,439
法人税等合計	63,832	198,576
当期純利益	141,006	389,242
親会社株主に帰属する当期純利益	141,006	389,242



②連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	141,006	389,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	668	△3,223
その他の包括利益合計	668	△3,223
包括利益	141,675	386,018
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	141,675	386,018

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	その他の 包括利益 累計額合 計	
当期首残高	30,000	399,088	334,404	763,493	△2,337	△2,337	761,155
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純利益			141,006	141,006			141,006
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					668	668	668
当期変動額合計	—	—	141,006	141,006	668	668	141,675
当期末残高	30,000	399,088	475,411	904,500	△1,668	△1,668	902,831

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	その他の 包括利益 累計額合 計	
当期首残高	30,000	399,088	475,411	904,500	△1,668	△1,668	902,831
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純利益			389,242	389,242			389,242
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					△3,223	△3,223	△3,223
当期変動額合計	—	—	389,242	389,242	△3,223	△3,223	386,018
当期末残高	30,000	399,088	864,654	1,293,742	△4,892	△4,892	1,288,850

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	204,839	587,819
減価償却費	47,228	87,580
投資有価証券売却損	7,476	—
補助金収入	△2,838	△20,111
受取保険金	△4,702	△3,933
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,130	2,638
受取利息及び受取配当金	△116	△117
支払利息	8,671	16,916
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,640	△7,299
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△177,030	61,355
仕入債務の増減額 (△は減少)	40,583	6,864
未払金の増減額 (△は減少)	72,385	△113,137
前受金の増減額 (△は減少)	132,667	66,138
その他	△4,896	△70,415
小計	288,497	614,298
利息及び配当金の受取額	116	117
利息の支払額	△8,671	△16,916
補助金の受取額	2,838	20,111
保険金の受取額	4,702	3,933
法人税等の支払額	△120,484	△81,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	166,999	539,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,006	—
定期預金の払戻による収入	145,011	—
有形固定資産の取得による支出	△245,762	△666,378
有形固定資産の売却による収入	97,620	—
出資金の払込による支出	△50,464	△50,202
長期貸付けによる支出	—	△163,200
投資有価証券の取得による支出	△31,706	△22,524
投資有価証券の売却による収入	35,188	—
その他	△3,910	△36,255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,029	△938,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△550,000	100,000
長期借入れによる収入	1,100,000	493,060
長期借入金の返済による支出	△340,102	△119,611
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△26,718	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	183,179	473,448
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	256,149	74,788
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,458	1,333,607
現金及び現金同等物の期末残高	1,333,607	1,408,396

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	446円95銭	638円04銭
1株当たり当期純利益	69円81銭	192円69銭

(注) 1. 当社は、2021年12月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	141,006	389,242
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	141,006	389,242
普通株式の期中平均株式数(株)	2,020,000	2,020,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。